

Build Live Japan 2014 募集要項 -共通事項-

2014年7月

Build Live Japan 2014 (以下 BLJ2014) の課題敷地は、沖縄県石垣市に設定します。BLJ2014 では建物に関わるたくさんの関係者が BIM にどのように取り組めるのか、BIM を活用したイノベータータイプなプロセスにチャレンジしていただくことを期待します。また、今回初めての試みとして、課題敷地、石垣島、沖縄への思いを集めるために、Build Live に先立ちプロポーザルを開催し、幅広い方々からの様々な意見を踏まえた上で、後半の Build Live の課題を決定します。

※なお、課題敷地では建替計画が進行中のため、応募案と将来実施される建替計画と類似性等が認められる可能性があります。その場合においても参加者等は知的財産権を主張しない旨に同意頂きます。

概要

BLJ2014 は2段階で開催します。

第1段階は、プロポーザルです。応募資格のある方であればどなたでも参加いただけます。石垣市の発展につながる様々な思いを提案に込めていただき、その上で、課題土地の活用アイデアを広く募集します。

第2段階は、従来からの Build Live です。100時間の中で BIM への取り組みをアピールしてください。

第2段階の課題作成には、第1段階のプロポーザルの提案を反映します。

第1段階のプロポーザル、および第2段階の Build Live の個別の募集要項は別紙を参照のこと。

1. 主催者および事務局

主催者：一般社団法人 IAI 日本 <http://www.building-smart.jp/>

事務局：Build Live 事務局 BuildLive@building-smart.jp

2. 使用言語

日本語。

3. 応募資格

BLJ2014 の開催趣旨に賛同いただける、チーム、個人ならだれでも参加できます。その場で作ったチーム、複数のグループや個人の混成チームによる参加も可能です。別途提示する期

日までに所定の手続きを行います。

4. 課題敷地

沖縄県石垣市内の、建て替え計画が進む県営住宅の敷地とします。

敷地境界、敷地形状の詳細な情報は、主催者が提供する敷地 IFC モデルを正とします。

該当敷地は住宅地にあり現在居住者がお住まいです。敷地や周辺の確認等で現地を訪れる際は、入居者および周辺住民の方々へ迷惑をかける行為が無きよう厳に注意してください。

5. スケジュール

6月中旬：開催概要公開

7月中旬：プロポーザル登録、Build Live 登録受け付け開始。土地概要 IFC モデル公開

8月3日 24:00：プロポーザル締め切り

8月下旬：Build Live 課題概要公開

9月1日 13:00 課題詳細公開をもって Build Live 開始

9月5日 17:00 Build Live 終了

9月中旬～：審査会

10月23日：Archi Future 2014 会場にて結果発表

2014 年末：作品集原稿締め切り

2014 年2月頃：まとめセミナー開催

6. 登録

参加を希望するグループや個人は、別途指示する期日までに、下記の登録サイトから所定の登録手続きを行ってください。

登録サイト：http://www.building-smart.jp/event/event_index.php

7. 事前説明

BLJ2014 に参加するために必要な土地モデルの使い方などの説明はオンラインで公開しますので、内容を把握してください。

8. 質疑

・質疑は競技期間終了まで事務局宛メール、SNS 等で随時受け付けます。質疑の内容と回答は、原則的に SNS、Blog 等、公開で行います。

- ・問合せの内容によって、主催者の判断で回答しない場合もあります。

9. 知的財産権および応募作品、データの取り扱い

- ・提出物の著作権・意匠権は応募者に保留します。
- ・提出物に引用がある場合は、事前に引用元の著作権者に許可をとり権利侵害を回避することとします。また応募者は、引用元の著作権者が権利を行使しない旨の同意を事前にとることとします。
- ・著作者が著作者人格権を行使しないことに同意することとします。
- ・著作権者は主催者が提出物を無償で利用することに同意することとします。
- ・著作権者は主催者が提出物を研究、広告、宣伝などの用途のために複製利用することに同意することとします。
- ・著作権者は、課題敷地に将来建設される建物等に提出作品との類似点が認められる場合でも知的財産権を行使しないことに同意してください。
- ・応募者は、入手したデータを有償で第3者等へ提供する行為を禁止します。
- ・応募者は、入手したデータを参加チームあるいは主催者を誹謗中傷する用途、あるいは公序良俗に反する用途に使用することを禁止します。
- ・応募者は、入手したデータを公表する際に引用先を明記することとします。

10. 失格

募集要項あるいは公序良俗に反する行為、不作為等があった場合は、主催者の判断で失格とする場合があります。

11. 結果発表および表彰式

- ・10/23開催の Archi Future 2014 のセミナーにて結果発表および表彰式を行います。
- ・Archi Future 2014 への参加には別途登録が必要です。Archi Future 2014 への参加登録は各自で行ってください。Archi Future 2014 参加への交通費は支給されません。

12. 作品集の原稿依頼とまとめシンポジウム開催

BLJ2014 の作品集を制作いたしますので、参加者には原稿執筆を依頼します。
また、まとめシンポジウムの開催を予定しております。詳細については追ってお知らせいたします。

13. 個人情報の取り扱い

BLJ2014 への参加登録等で収集した個人情報は、主催者が BLJ2014 の開催および、主催者が開催する類似イベントのご案内にのみ使用します。第三者への提供はいたしません。

14. その他

応募者(チームの場合は構成員全員)は、この BLJ2014 応募することによって、募集要項に記載した事項に同意したものとみなします。

D. 公式サイト

- ・ Blog サイト : <http://bljapan2014.seesaa.net/>
- ・ Facebook : <https://www.facebook.com/BuildLiveJapan2014>
- ・ Facebook 参加者グループ : <https://www.facebook.com/groups/blj2014party/>

※Build Live は IAI 日本の登録商標です。

※募集要項の作成では「深谷通信所跡地利用アイデアコンペ」の参加要項を参考にいたしました。

Build Live Japan 2014 募集要項 –Build Live–

2014年7月

1. 競技方式

インターネットを活用し BIM (Building Information Modeling) を活用した建設プロセスを公開しながら進める公開競技。

2. 競技への参加要件

Build Live では、各種のデータ提供、提出をインターネット経由で行います。高速のインターネット接続が必要です。課題提出に必要な上り側の速度（数 Mbps 程度以上は必要でしょう。ADSL 等は下りよりも上りの速度が遅いです。ご注意ください）を確保してください。
なお、インターネット通信にかかる費用は応募者負担とします。

3. SNS のアカウント作成

参加者は問い合わせや情報共有のために Facebook に「Facebook 参加者グループ」を作成し活用しますので、Facebook にアカウントを作成してください。

4. アピールサイトの作成と投稿内容

参加者は、Blog、SNS 等によるアピールサイトを設け、自己アピールを投稿してください。投稿されたコンテンツは審査に使用しますので、アピールサイトのアクセス先を事前にお知らせください。

この投稿は重要です。 審査の際、この投稿からチームの取り組みの様子を把握しますのでアピールしたい内容をわかりやすい表現で投稿してください。また、2015 年 3 月末までを目処にコンテンツを保全してください。

アピールには次の内容を含む投稿をしてください。

- ・ 課題に対する提案内容：条件の読み解き、アイデア、代替案、設計のポイントなど
- ・ BIM への取り組み：ポイントとなった議論や判断、判断に使われたデータとその説明、データの受け渡しの状況、アイデア、作業の様子など
- ・ データの説明：データ共有サーバへアップロードした間データ、成果物などの説明。第 3 者が検証可能となるようにしてください

5. 提出物と提出方法

- ・参加者は BLJ2014 で予定している BIM への取り組み内容を示す「BIM 計画書」を別途指示する期日までに指定の方法で提出してください。BIM 計画書は、ひな形を提供しますので必要事項を記載し提出してください
- ・検証可能な中間データをデータ共有サーバにアップロードしてください。データ共有サーバにアップロードされた提出物は、一定の期間（2014/12 まで）、見学者に向けて公開されます
- ・室の自動集計を可能とする所定の情報を付加した IFC ファイルを、データ共有サーバにアップロードしてください
- ・自己アピールは、競技開催期間中に Blog 等への掲載や SNS への投稿で発信してください。必須です。昨年の BLJ2013 参加チームのアピールサイトが公開されていますので、参考にしてください。
- ・後からプロセスを確認するために必要となるファイルをデータ共有サーバへアップロードしてください。アップロードするファイルの例は次のとおり
 1. データ交換したファイル
 2. 判断の元となったデータのファイルなどとその説明資料
 3. 成果物と説明資料

6. 審査

- ・プロセスの審査：参加チームが Blog や SNS に投稿する取り組みの様子を確認しながら、プロセスの評価を行います。ここでは主に主催者によって、技術的な取り組みに対する評価を行います。
- ・審査会：審査員の視点から評価を行います。これまでの Biold Live では、提出作品の動向を踏まえながら、BIM の特性を活かした作品をより高く評価してきました。審査会では、チームに説明を依頼する場合があります。方法は別途指示します（審査会場への出席、TV 会議などを想定）。

審査員は次の方々です。

松家克氏 建築家/ARX 建築研究所 代表/ARX+ 代表/武蔵野美術大学 理事

渡辺仁史氏 早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授

池田靖史氏 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授、IKDS 代表

山梨知彦氏 建築家/日建設計 執行役員 設計部門代表、デジタルデザイン担当

豊田啓介氏 建築家/NOIZ パートナー

- ・見学者、参加者投票：見学者、参加者による投票を行います。

7. 賞

主催者および審査員、協賛企業による審査を行い、参加チームの中から以下の賞を授与します。

- ・技術賞としてアワード
- ・審査員賞として最優秀賞、優秀賞など
- ・協賛企業の冠賞

また、見学者投票を実施します。

なお、BLJ2014の受賞には、該当敷地の計画に関するいかなる権利付与もありません。

8. 提供サービス

主催者は、参加者にBIMプロセスを体感いただけるよう、協賛企業から提供されたサービスやソフトウェアなどを提供します。詳細は別途お知らせします。

以上

[2014/8/25 改訂]